



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第527号

2021年11月15日

発行

日本共産党  
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田  
312-5

## 「少年自然の家」の現状把握のため視察

八千代市少年自然の家は、公共施設再配置等推進委員会で廃止の方針が出されていますが、9月市議会での日本共産党の質問に対し市は、「保護者の皆様等に説明を行ったうえで最終判断を行う」という答弁で、最終決定に至っていない旨の回答が示されています。

一方で、少年自然の家を利用したことがある市民や教育に携わる方々からは、「存続して欲しい」という声がとても多く届いています。

日本共産党八千代市議団は11月2日、耐震化が未定という理由で2020年4月から使用停止となっている少年自然の家の現状と存続の可能性を確認するために、現地視察を行いました。



日本共産党市議団による視察

## 「もったいない！」状態は良好ですが雨漏りも...

少年自然の家の状態は良好で、宿泊室、トイレ、厨房に至るまで、とても綺麗に保たれていました。これらは1996年に約10億円の費用をかけた大規模改修によるものと思われる。

しかしながら宿泊棟とプラネタリウム棟のつなぎ目周辺は、全階層で雨漏りによる天井の破損とカビの発生、天体望遠鏡が設置されているドームなどの金属部分は、錆のため腐食が進んだまま放置された状態です。

プラネタリウムは老朽化が進んでいますが、建物の耐震化工事と合わせて、防水工事と鉄部塗装、部分的な内装工事を実施することで運用再開は充分可能です。



綺麗に保たれた宿泊室



明るいトイレには  
大きな洗面台も



プラネタリウム入口は  
雨漏りの影響が

## 子どもたちの未来のために「少年自然の家」は存続すべき

世界中で気候危機が叫ばれるなか、「持続可能な開発のための2030」に向けた行動の必要性に迫られています。

少年自然の家は、これからの未来を担う子どもたちに自然環境の大切さを伝える絶好の場となるものです。

今までは小学生が対象でしたが、これからは、地域循環共生圏の考え方も含め、環境の学習のために中学生や一般にも開放する施設とすべきです。

日本共産党は、子どもたちと八千代市の未来のためにも「少年自然の家」は存続すべきと考えます。